

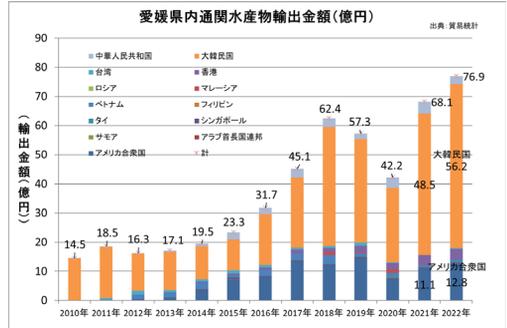
輸出事業計画

※申請者名：愛媛県漁業協同組合、品目：ぶり、たい

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 主力輸出商品であるぶり、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向
- 愛媛県の輸出は増加傾向（R2はコロナでダウン）
 （背景）輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等
 （追い風）日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等
 （実態）北米向けぶり伸長、韓国向け活魚伸長

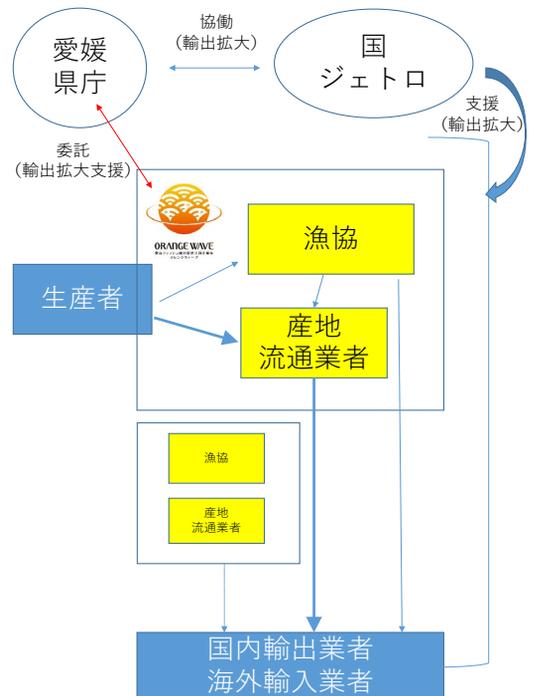


【課題】

- 輸出 ～さらなる輸出拡大に向けて～
- ・加工体制の高度化（HACCP施設の拡大）
- ・体制整備（FSMA対応、Green list取得等）
- ・マーケットニーズの把握
- ・アイテム確保（漁業認証等）
- ・戦略商品づくり（冷蔵ぶり・マダイフィレ）
- ・認知度向上

2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策
HACCP輸出	・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器を整備等
体制整備	・HACCPプラン実行、FSMA対応 ・FDAグリーンリストの取得
漁業認証	・認証取得及び維持に対する支援 ・現地ニーズの把握
戦略商品	・冷蔵ぶり・マダイフィレ
認知度	・北米における市場調査 ・飲食店等へのプロモーション活動 ・国（ジェットロ）と一体となったプロモーション活動
ビハインド	・多量多品種の強みを生かした販売 ・共同集荷輸送の検討
マーケットニーズの把握	・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等

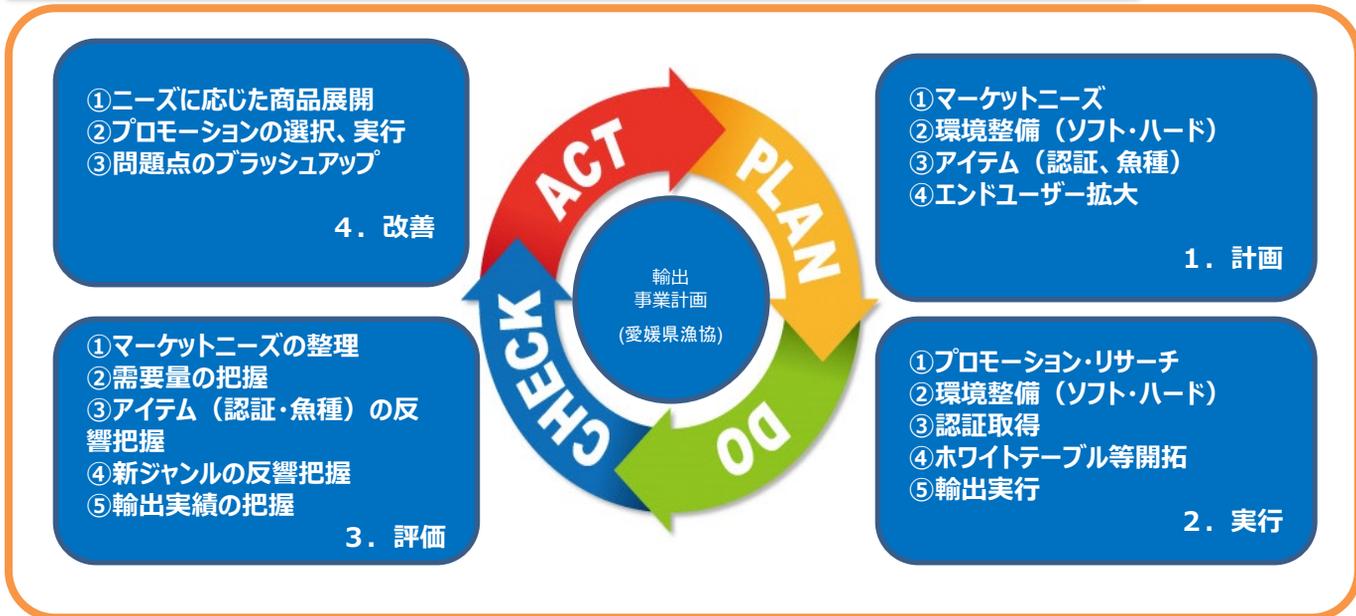


愛媛県のオレンジウェブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取り組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働での輸出を伸長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

輸出事業計画

※申請者名：愛媛県漁業協同組合、品目：ぶり、たい

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

愛媛県産ぶり	現状 (令和3年度)	目標 (令和7年度)	増減
輸出額	66,245,000円	93,750,000円	27,505,000円
輸出货量	62.8 t	87 t	24.2 t
輸出先国	米国、カナダ	米国、カナダ	—
取扱量	16,508 t (令和元年)	19,000 t	2,492 t

愛媛県産まだい	現状 (令和3年度)	目標 (令和7年度)	増減
輸出額 (円)	2,700,000円	29,700,000円	27,000,000円
輸出货量 (t)	3 t	23 t	20 t
輸出先国	米国、カナダ	米国、カナダ	—
取扱量	35,350 t (令和元年)	36,000 t	650 t